

お 知 ら せ

1. 件 名

梅雨前線の降雨における阿木川ダムの洪水調節効果(速報)

2. 概 要

平成17年7月1日、停滞していた梅雨前線の活動が活発になり、岐阜県の山間部を中心に雷を伴う激しい降雨に見舞われました。

木曽川水系阿木川の阿木川ダム流域では、7月1日4時から1日23時にかけて累計103mmの降雨を記録しました。とくに、1日12時の時間雨量は29mm、1日10時から13時までの3時間雨量は63mmを記録しました。

この降雨により阿木川ダムの流入量が、1日12時41分に洪水流量(120m³/s)に達し、その後流入量は1日14時42分に最大約156m³/sとなり、約154m³/sの洪水調節を実施しました。

このことにより、下流基準地点(大門地点)において約1.0mの水位低下があったものと推測され、下流河川の洪水を軽減しました。

3. 雨 量

流域平均雨量 約103 mm 降り始めからの累計値

1 日 4 時 から 1 日 23 時 まで

ダム地点雨量 約111 mm 降り始めからの累計値

1 日 4 時 から 1 日 21 時 まで

4. 阿木川ダム洪水調節量

ダム最大流入量 1 日 14 時 42 分 約 155.50 m³/s

ダム最大流入時放流量 1 日 14 時 42 分 約 1.79 m³/s

洪水調節量 約 153.71 m³/s

5. 下流基準地点での効果推定値

ダムが貯水池内に洪水を貯留することにより、大門地点での実績最高水位は1.66mでした。

ダムが貯留しなかった場合の大門地点での水位は、約2.66mと推定されます。(この値は、大門地点の実績流量に阿木川ダム地点の洪水調節量を加算して算出した河川水位の推定値です。)

その結果、大門地点で約1.00mの水位低減効果があったものと推定されました。

大 門 地 点 阿木川ダム下流約2.5km、木曽川本川合流前5.5kmの地点
住 所 : 岐 阜 県 恵 那 市 東 野 字 下 屋 下 6 5 0 - 1

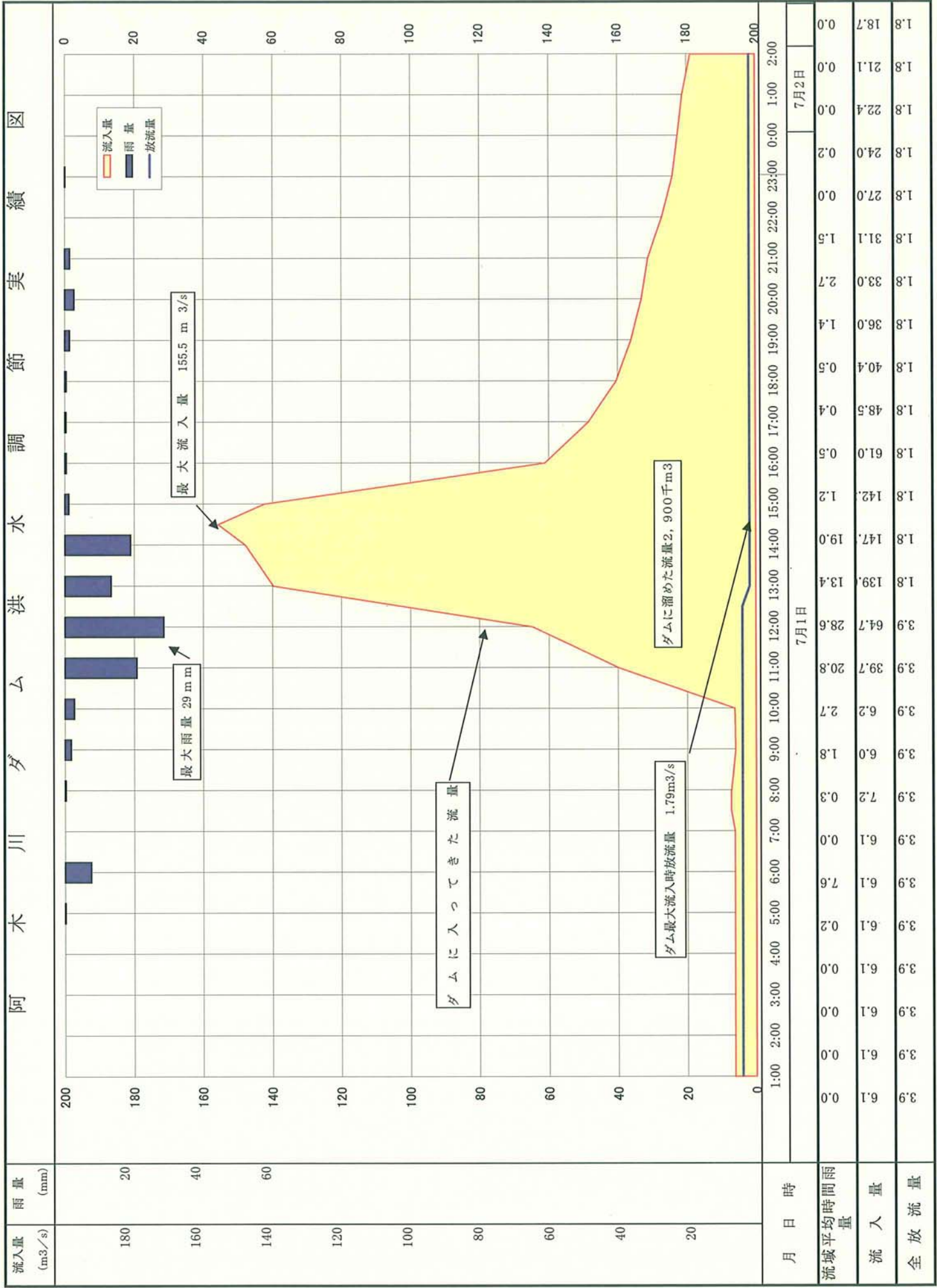
6. 配 布 先

岐 阜 県 政 記 者 ク ラ ブ

7. 問 い 合 わ せ 先

独立行政法人 水資源機構 阿木川ダム管理所 所長代理(技術) 牧 野 隆
電 話 0 5 7 3 - 2 5 - 5 2 9 5

国 土 交 通 省 木 曽 川 上 流 河 川 事 務 所 流 水 調 整 課 長 大 塚 康 司
電 話 0 5 8 - 2 5 1 - 3 2 3 4



阿木川ダムの洪水調節効果（大門地点）

